# 2019年度事業状況報告書 (2019年4月1日~2020年3月31日)

■2019年度事業状況報告	1頁
	1 🗖

■2019年度貸借対照表 17頁

■2019年度理事会及び評議員会開催状況 18頁

#### ■2019年度事業状況報告

**当財団の目的**は、「民族学・文化人類学等の振興を図るため、関係諸機関と連携しその普及に努める。それらの活動を通して人類の多様な社会や文化に対する市民の理解と教養を培い、社会の発展に寄与する。」と定められ、その目的を達成するための各種事業を推進するとともに、現代社会の諸問題を解く鍵として、文化人類学・民族学の視点を活かし、国立民族学博物館をはじめ各種研究機関と連携し、文化振興や次世代育成等さまざまな社会貢献活動に取り組んでいる。

2019年度事業概要:2019年度は、前年度の大阪府北部地震に伴う臨時休館により実施できなかった、リニューアルした友の会サービスの普及に努め、会費収入をはじめとする組織運営に必要な財務基盤について検討した。また秋開催の特別展がたいへん好評であったため、入館者数及びショップの売上は例年を大きく上回った。しかしながら、本年2月28日から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により臨時休館となったため、館内ショップは3月以降休店となり、通信販売及び掛け売り以外の売上がない状況となった。年度がかわっても、臨時休館は継続しており、ショップ事業だけでなく友の会会費収入も大幅に減少することが想定され、先が見通せない厳しい状況となっている。

#### 1.民族学・文化人類学等普及事業

一般市民を対象に民族学・文化人類学の普及のため、国内唯一の民族学・文化人類学の研究センターで ある国立民族学博物館の協力のもと、学術情報をわかりやすく提供する各種事業を企画・実施

- 1)「梅棹忠夫アーカイブズ資料の整理及びそれに基づく基礎データの整備並びに支援業務」に協力した。 別紙 1:業務報告
- 2) 民族学・文化人類学の研究促進・普及を目的とした図書の企画として、家庭学術雑誌である機関誌『季刊民族学』4号(168号~171号)を編集、発行した。別紙2:機関誌『季刊民族学』目次2020年は、'70年万博から50年の節目にあたる年となるため、関連事業として岡本太郎特集『季刊民族学』165号の再版をおこなった。
- 3) 民族学・文化人類学の普及を目的とした各種講演会・セミナー等を企画・運営した。 2019 年度実績:大阪 11 回、東京 6 回、見学会 6 回、体験セミナー2 回、海外民族学研修の旅 2 回、午餐会 1 回、トークイベント 1 回(主催:国立科学博物館 千里文化財団)を実施した。 別紙 3:講演会等 開催内容

#### 2.国立民族学博物館利用促進事業

国立民族学博物館の利用促進を目的として、一般市民を対象にした各種協力事業を実施

- 1) 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業を実施した。
  - ① 特別展関連書籍『驚異と怪異―想像界の生きものたち』の校正協力
  - ② 企画展関連書籍『梅棹忠夫―知的先覚者の軌跡』の再版(四刷) ・2020年3月20日4刷発行販売価格:2,400円(本体価格)+税 ※「出版契約書」を民博と当財団(発行)で取り交わした。
  - ③ 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業 ミュージアム・ショップの運営:国立民族学博物館の映像資料の複製発行及び頒布、 レプリカ・ポストカード、記念品等の制作及び頒布、現地産民族資料及び民族学・ 文化人類学関連図書の頒布をおこなった。

#### 2019 年度教材頒布の取扱い内容:

- □レプリカ、ポストカード類:内容)砂金の分銅等レプリカ、ポストカード
- □現地産民族資料(約100カ国)
  - 内容) 芸能・儀礼資料(仮面、楽器他)、生活資料(衣類、嗜好品、装飾品他)
- □民族学・文化人類学関連図書・映像音響資料
  - 内容) 図書約 4,000 種、民族音楽等の CD・DVD 約 50 種
- □記念品(オリジナル・グッズ)、便宜共用品
  - 内容) クリアファイル、一筆箋、T シャツ、レターセット、スタンプ、トートバッグ、 マグカップ、切手、雨傘 他
- 2) 国立民族学博物館の普及事業を各種実施した。
  - ①「国立民族学博物館友の会」の運営
  - ②「国立民族学博物館友の会」会員の増強

2020 年 3 月末現在の件数:維持会員 123 口(法人 59 社 /個人 3 名)、正会員 1.373 件、 家族会員 50 件、ミュージアム会員 124 件、フリーパス 122 件、キャンパスメンバーズ 9 校

# 2019 年度友の会増強への取り組み

・2019年 春の入会キャンペーン

期間:3月18日(月)~5月31日(金)

特別展「子ども/おもちゃの博覧会」の開催にあわせて実施。

現会員へ、新社会人や学生の方々へのプレゼント入会の周知を促した。

(会員サービスも含めた 1 年間有効の会員証を贈り物として利用していただく。オリジナル グッズ等に交換できるプレゼント券も贈呈。)

- ・7月「入会のご案内」(リーフレット)のリニューアル 利用内容を明確にするとともに、郵便局の払込用紙を添付し手続きしやすいように一新した。
- ・2019年 秋の入会キャンペーン

期間:8月22日(木)~10月20日(日)

特別展「驚異と怪異一想像界の生きものたち」の開催にあわせて実施。3カ月間、正会員と同様のサービスを提供する「体験会員」(4,000円)を設け、会員制度の体験利用を促した。利用者には『月刊みんぱく』8月号(特集:特別展関連)を進呈。終了後、正規会員に移行する場合は、年会費の割引を適用するなど入会を促した。

利用者数:24名(うち正会員への移行6名、ミュージアム会員への移行1名)

③「キャンパスメンバーズ」の運営及び増強

新規キャンパスメンバーズの登録:同志社大学 グローバル地域文化学部

- ④ 国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』の編集協力・制作及び編集事務を受託し実施した。
- ⑤ 国立民族学博物館オリジナルカレンダーの制作及び広報普及活動をおこなった。
- ⑥ 国立民族学博物館外部広報事業 「阪急生活楽校」との連携講演会の開催 別紙 4 大阪の表玄関、梅田に位置している阪急うめだ本店に設けられた阪急うめだホールでは、新しい 生活文化の発信基地として、講演会や展示会等さまざまな目的で活用されている。国立民族学博 物館の広報を目的とし、「阪急生活楽校」との連携事業と位置づけた講演会を開催した。
  - ・8月27日(火)「物語は極上の嗜好品―女性が愛したアラビアンナイト」

講師:西尾 哲夫(民博教授) 参加者数:112名

・12月11日(水)「イタリア人と食一生活を楽しむために」

講師:宇田川 妙子(民博教授) 参加人数:86 名

会場:阪急うめだホール (阪急うめだ本店 9 階)

主催:千里文化財団 阪急うめだ本店 協力:国立民族学博物館

- 3) 国立民族学博物館来館者の学習支援事業(受託事業)
  - ① 展示案内学習支援等業務を受託し実施した。
  - ② 研究資料整理・情報化及び利用管理業務を受託し実施した。
  - ③ 民族学資料共同利用窓口業務を受託し実施した。
  - ④ ゼミナール・研究公演等受付案内業務を受託し実施した。
  - ⑤「みんぱくウィークエンド・サロン一研究者と話そう」実施業務を受託し実施した。
  - ⑥ シャトルバス利用者の誘導・看視及び案内等業務を受託し実施した。
  - ⑦ 関連催し物の開催支援等各種業務を受託し実施した。
    - ・G20 大阪サミット開催に伴う特別警戒中のクローク業務(実施日:6月29日及び30日)
    - ・体験ワークショップ「マハーリードを和紙でつくろう!」【企画展「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年―『みられる私』より『みる私』」関連】開催に係る運営委託業務 実施日:7月6日(土)・7月7日(日) 会場:国立民族学博物館 第3セミナー室

主催:人間文化研究機構現代中東地域研究 国立民族学博物館拠点・秋田大学拠点

協力:片倉もとこ記念沙漠文化財団

- ・JICA「博物館とコミュニティ開発」コース「ミュージアムショップマネージメント、 商品開発」講義指導 (実施日: 9月27日)
- 商品開発」講義指導 (実施日: 9月27日) ・国立民族学博物館 研究公演「能と怪異(あやかし)」
- 【特別展「驚異と怪異一想像界の生きものたち」関連】演者対応に係る業務 実施日:9月29日(日) 会場:国立民族学博物館 1階エントランスホール

参考)参加人数:638名

・年末ワークショップ「みんぱく村に神楽がやってくる!―伊勢大神神楽実演とおはなし」に おける案内業務

実施日:12月14日(土) 会場:国立民族学博物館 特別展示館1階

- 4) その他、国立民族学博物館活動に協力する各種事業
  - ① 国立民族学博物館特別展及び企画展に対する協力として各種広報活動を実施した。 特別展「子ども/おもちゃの博覧会」(2019年3月21日~5月28日)、特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」(8月29日~11月26日)、特別展「先住民の宝」(2020年3月19日~6月2日)、企画展等各種催しの広報活動をおこなった。
  - ② 国立民族学博物館館外催しへの協力事業(受託事業)

国立民族学博物館 公開座談会「自然界から想像/創造する~Creature Creators' Symposium」 【特別展「驚異と怪異一想像界の生きものたち」関連】運営支援業務

実施日:9月23日(月・祝)

会場:ナレッジシアター (グランフロント大阪北館 4 階) 参加人数:313 名主催:国立民族学博物館、一般社団法人ナレッジキャピタル、株式会社 KMO

③ 人文機構シンポジウムの実施支援業務(受託事業)

第37回人文機構シンポジウム「この世のキワー自然と超自然のはざま」 【国立民族学博物館 特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」関連】

実施日:11月23日(土・祝)

会場: ナレッジキャピタルカンファレンスルーム タワーC RoomC01+02 (グランフロント大阪北館タワー8階) 参加人数: 218名

主催:大学共同利用機関法人人間文化研究機構

#### 3.博物館活動支援及び調査研究事業

博物館に集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、そのあり方を調査研究するとともに博物館 活動を支援

- 1) 博物館に集積された資料と情報の活用方法及び博物館等の連携のあり方に関する調査をおこなった。
  - ① 出前授業プログラム開発
  - ② 各地の博物館等の施設を活用する巡回展等 別紙 5

2019 年度実施した外部展示:国立民族学博物館コレクション「世界のかわいい衣装」展

会期:11月13日(水)~25日(月) 13日間

会場: 阪急うめだ本店 9F 阪急うめだギャラリー

入場者数: 11,802 人

2) 博物館運営や展示のあり方に関する調査研究

指定管理者制度における博物館運営に関する調査、巡回展のための什器に関する調査、博物館に おけるミュージアム・ショップの役割に関する調査をおこなった。

3) 各地の博物館展示案内等の編集業務

日本生命財団より、ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)展示案内『瀬戸内の交流 一まちのにぎわい 人のつながり』(2020年2月20日発行)の編集協力を受託し実施した。

4) 各種出版事業

『楽器は語る―スティールパンから津軽三味線まで』(冨田晃著)の再版(第2版) (2020年3月31日第2版発行) ・販売価格:2,800円(本体価格)+税 ※『季刊民族学』135号掲載「弦の響き―津軽三味線の形成と現在」より

## 4.地域活性化、文化振興協力事業

多様な文化の振興をめざし、各種文化活動に協力した。

1) 日本万国博覧会記念公園関連施設との連携事業 関連施設との連携を検討した。(相互割引、公園の通行の件)

2) 松下幸之助記念財団から、第 28 回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務を受託し 実施した。

5月:選考委員会の開催 6月:推薦人へ推薦の依頼文書送付

8月~9月:推薦内容の集約及びまとめ 10月:選考委員会の開催 参考)2020年2月1日:第28回「松下幸之助花の万博記念賞」受賞式

3)「日本展示学会」の事務業務を受託し実施した。

会員管理、及び学会誌の発送

理事会・総会・研究大会(6月)及び「展示論講座」(9月)の開催協力

- 4) 同人雑誌『千里眼』の編集を受託し、第 146 号~第 149 号の 4 号を発行した。 2020 年 3 月 1 日時点の同人数 50 名
- 5) 長野県との「信州の山岳文化創生事業」の推進に関する包括連携協定に基づく協力

# 「梅棹忠夫アーカイブズ資料の整理及びそれに基づく基礎データの整備並びに支援業務」事業報告

2019 度の業務内容は、梅棹アーカイブズ「一件ファイル」約1万件)」、「現地調査ファイル」、「著作棚」の重点的整理・点検(内容確認、排架ほか)、データベースの基礎データ(リスト、資料目録、画像データ)を作成。また、研究利用での活用(閲覧、資料利用、公開、研究支援、出版、展示、見学等)を促進させた。特に、整理が進み、蓄積された基礎データを活用して、展覧会(梅棹忠夫生誕 100 年記念企画展「知的生産のフロンティア」)で発表する業務を中心におこなった。

- 1. 整理と基礎データ整備:国立民族学博物館 HP 公開中の梅棹アーカイブズ「全リスト」より。 「6. 一件ファイル」の内容確認、点検して、現物ファイルの棚位置を確定し、「保管台帳」と「Web 公開用リスト」の照合。また、「著作」や「引紹批言録」などの現物を補填し、DB を更新。 「8. 現地調査ファイル」は、1964年の「第7回 国際人類学・民族学会議 ソ連」、パスポート、1960年代後半の『知的生産の技術』関連資料、1966年の「万国博覧会視察」ほかの内容整理と基礎データ整備。「著作現物棚」の整理と整備(コレクション「梅棹忠夫著作物」の書籍、雑誌、新聞記事等、769点)。現物と DB「梅棹忠夫著作目録(1934~)」レコードを点検、整備。
- 2. 資料のデジタル化 (学術研究用 累計約 55,000 コマ): 画像、画像目録を作成。 【現地調査ファイルほか】32 フォルダー、約 2,600 コマ、【梅棹忠夫著作資料】52 フォルダー、1,071 コマ作成。※画像データ 5 種類 (JPEG, TIFF, Web 小, Web 大, PDF) の合計は、15,991 件。
- 3. 資料目録作成:資料デジタル化に対応した「資料目録」約700レコード作成。
- 4. 対応した利用状況: 資料利用、研究支援、問い合わせ、閲覧、展覧会開催、見学、情報提供等 233 件。
- 5. 資料利用の支援と成果物:「利用成果物一覧」を作成、該当成果物は15点。
- 6.「引紹批言録」整備:梅棹忠夫逝去後の記事の整備(約700)、新規情報収集とレコード作成。
- 7. みんぱく図書室と関連した整理:書籍、逐次刊行物等の寄贈など。
- 8. 写真資料の整理:「梅棹忠夫写真コレクション(全35,420点)」(館内限定公開)「注記」情報の 更新等。
- 9. 梅棹忠夫生誕 100 年記念企画展「知的生産のフロンティア」開催関連業務:

【会合開催】実行委員会(7回)ほか、会合の準備、開催、記録作成。

【展示】図面作成協力、平面図、立体図の確認。パネル、バナー、レプリカ等の制作支援、協力。

【展示資料】資料の選択、リスト作成、キャプション、及び解説の作成。

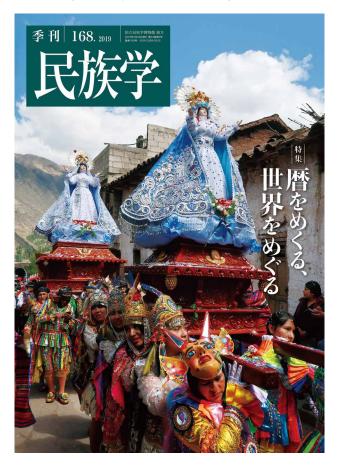
【デジタルコンテンツ展示】資料選択、展示用データ作成ほか。

【広報】プレスリリース用資料作成などに協力。

【関連出版物】『梅棹忠夫一知的先覚者の軌跡』第4刷、『月刊みんぱく』、『季刊民族学』172号特集、『梅棹忠夫「日本人の宗教」』などの情報、及び資料提供、編集、制作、関係者権利処理の協力。

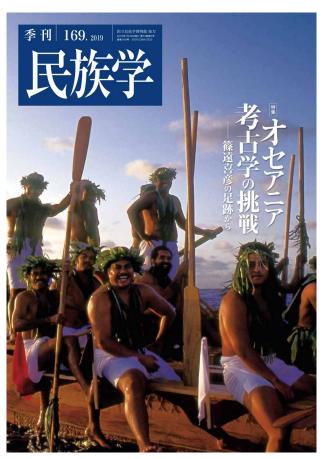
- 10. 室運営の業務、報告、記録:課題解決、進捗や計画をおこなうミーティングを 11 回開催、 「記録」作成
- 11. 資料利用に関わる事務書類の整備:「研究アーカイブズ利用申請書」ほかの英語版作成協力。
- 12. 運営事務全般の支援、協力。室の環境整備、安全対策、什器補填ほか。

# 168号(2019年4月25日発行)



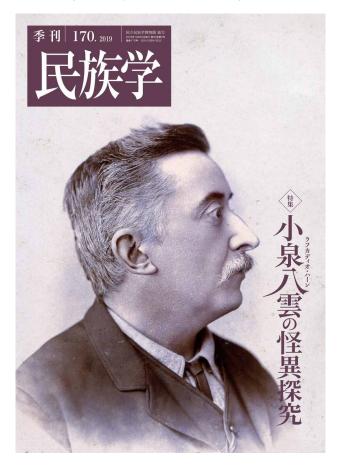


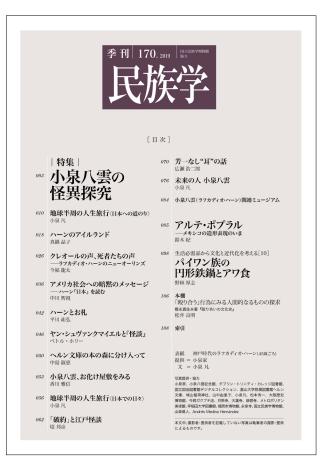
169号(2019年7月25日発行)





# 170号(2019年10月25日発行)





171号(2020年1月25日発行)





### 国立民族学博物館友の会 講演会等 開催内容(協力:国立民族学博物館)

# 1. 「国立民族学博物館友の会」講演会

【大阪】毎月第1土曜日13:30~14:40 (懇談会・見学会14:50~15:30) 会場 国立民族学博物館 第5セミナー室

第487回「イラン音楽の楽しみ一伝統打弦楽器サントゥールを例に」

【企画展「旅する楽器―南アジア、弦の響き」関連】

4月6日 講師:谷正人(神戸大学大学院准教授)

イラン音楽の特徴ともいえる「微分音」「無拍」「旋律進行」。この三つのキーワードに注目し、 伝統打弦楽器サントゥールの実演を交えながら、イラン音楽の魅力について考えた。

第488回「紙人形と着せ替え遊び一遊ぶ身体の記憶」

【特別展「子ども/おもちゃの博覧会」関連】

5月4日 講師: 森下 みさ子(白百合女子大学教授)

世代を越えて多くの女性が遊んだ経験のある着せ替え人形。時代背景とともに造形と遊び方の変化に注目しながら、着せ替え遊びの普遍性と可変性について理解を深めた。

第489回「『陽気な墓』をとおして考える生と死」

6月1日 講師:新免光比呂(民博准教授)

参加人数:55 名

参加人数:95名

参加人数:37名

展示資料を糸口に、ヨーロッパにおける死の捉え方、死のイメージの変遷を図像学から読み解 き、異教習合の比較をとおしてルーマニアと日本の死生観の変容の違いを考えた。

第490回「サウジアラビア女性の日常世界のいま・むかし」

【企画展「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年

―『みられる私』より『みる私』」関連】

7月6日 講師:郡司 みさお (片倉もとこ記念沙漠文化財団理事)、

藤本 悠子(片倉もとこ記念沙漠文化財団事務局主事)

参加人数:60名

片倉もとこ名誉教授の撮影資料をもとに「教育」「仕事」「結婚・子育て」「服装」「趣味・遊び・エンターテイメント」の側面から、サウジアラビア女性の50年の生活変化を考えた。

第491回「若きガンディー」【みんぱく名誉教授シリーズ】

8月3日 講師:杉本良男(民博名誉教授)

参加人数:40名

インドの独立運動の指導者として、後半生の活動がよく知られているマハートマ・ガンディー。 彼の思想形成期であった、前半生に着目し理解を深めた。

第492回「エベレストの麓に生きる人びと一シェルパとヒマラヤ観光の現在」

9月7日 講師:古川 不可知(民博機関研究員)

参加人数:44名

ネパールの高山地域に暮らすシェルパ族に注目し、グローバルな観光業がもたらした生業や生活スタイルの変化について理解を深めた。

第493回「対談 幻獣! ―そこに"在る"不思議な生きもの」

【特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」関連】

10月22日 (火・祝)、会場:第4セミナー室

話者:湯本 豪一(妖怪・幻獣研究者)、山中 由里子(民博教授) 参加人数:99 名

妖怪・幻獣コレクターを招き、妖怪や幻獣にその存在を信じた人びとの社会や文化、時代背景をさぐることができる点、資料収集の重要性について理解を深めた。

※台風で当初予定していた開催日が臨時休館になったため日程と会場を変更して実施。

第494回「マウシムを生きる人びとの歴史―19世紀ペルシア湾の生業、交易、移動」

11月2日 講師:鈴木 英明(民博助教)

参加人数:38名

石油資源開発以前(おもに 19 世紀)のペルシア湾岸地域に着目し、季節風との密接なかかわりのなかで、人びとがどのように暮らし、地域外の世界とかかわってきたのかを考えた。

第495回「聖なるもの 俗なるもの」【みんぱく名誉教授シリーズ】

12月7日 講師:立川 武蔵(民博名誉教授)

参加人数:53名

宗教的要素がみられる法事や葬儀、個人の精神的救いでもある坐禅や念仏。これら現象を、聖なるものと俗なるもの、浄なるものと不浄なるものという観点から捉えなおした。

第 496 回「中国に生きるムスリムたち」

2020年1月11日 講師: 奈良 雅史(民博准教授)

参加人数:50名

中国に居住するムスリムの約半数を占める回族。彼らの来歴と文化を概観したうえで、宗教教育を例に、中国共産党政権下でいかにイスラーム信仰を続けているのかを考えた。

第 497 回「博物学者 朝枝利男の生涯を追う」

【コレクション展示「朝枝利男の見たガラパゴス―1930 年代の博物学調査と展示」関連】

2020年2月1日 講師:丹羽 典生(民博准教授)

参加人数:41名

戦前の博物学者 朝枝利男が残した文章、写真や絵画資料を整理し、彼が属していた知的ネットワークや社会階層、彼自身が抱いていた探検に対する思想について理解を深めた。

※第 498 回「災害を伝える」(2020 年 3 月 7 日)講師: 林勲男(民博教授)は、新型コロナウイルス 感染拡大防止のため臨時休館となり中止

#### 2. 国立民族学博物館友の会 東京講演会

◎東京:モンベル御徒町店 4F サロン

第126回「チワン(壮)族の文化の資源化の現状」【みんぱく名誉教授シリーズ】

7月13日(土) 講師:塚田 誠之(民博名誉教授)

参加人数:42名

中国の少数民族で最大人口を有するチワン(壮)族。「文化資源」の概念を紹介し、チワン族 の事例から「繍球」文化の創出、棚田と高床式住居の観光化について理解を深めた。

◎東京:国立音楽大学 7 号館 2 階多目的室

第127回「世界の楽器を探る」

9月14日(土) 講師:福岡正太(民博准教授)

参加人数:34名

楽器の研究手法としての比較音楽学から民族音楽学への移行の歴史とともに、文化の継承や創造の観点から、博物館がもつ楽器資料が見直されつつある現状を確認した。

◎東京:モンベル御徒町店 4F サロン

第128回 「消滅の危機に瀕した言語」

2020年1月25日(土) 講師:吉岡 乾(民博准教授) 参加人数:62名

近年、研究者間でも意識が高まっている危機言語を取りあげ、その状況を多角的に紹介するとともに、今後の向き合い方について当該言語話者、研究者、第三者の立場から考えた。

#### 3. みんぱく見学会

第75回 企画展「旅する楽器―南アジア、弦の響き」

4月6日 講師:谷正人(神戸大学大学院准教授) 参加人数:52名

第76回 特別展「子ども/おもちゃの博覧会」

5月4日 講師:森下 みさ子(白百合女子大学教授) 参加人数:28名

第77回 企画展「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年―『みられる私』より『みる私』」 7月6日 講師:縄田 浩志(民博客員教授) 参加人数:55名

第78回 国立音楽大学楽器学資料館 ※民博館外で実施。

9月14日 講師:福岡 正太(民博准教授) 参加人

数:32名

第79回 特別展「驚異と怪異一想像界の生きものたち」

10月22日(火・祝)講師:湯本豪一(妖怪・幻獣研究者)、山中 由里子(民博教授)

参加人数:65 名

第80回 コレクション展示「朝枝利男の見たガラパゴス―1930年代の博物学調査と展示」

2020年2月1日 講師:丹羽 典生(民博准教授) 参加人数:35名

#### 4. 体験セミナー

第81回「琵琶湖と生きる一刺し網漁とモンドリ漁」

実施期間:5月11日(土)~12日(日)[2日間・滋賀県]

講師:篠原 徹 (滋賀県立琵琶湖博物館名誉館長)、渡部 圭一 (滋賀県立琵琶湖博物館主任学

芸員)、卯田 宗平(民博准教授)

協力:滋賀県立琵琶湖博物館 参加者数:17名

「湖と人間」をテーマにした滋賀県立琵琶湖博物館の見学、刺し網漁とモンドリ漁の体験をとおして、湖とともに生きてきた人びとの知恵や技術、その文化継承について考えた。

第82回「もののけ怪道をゆく一稲生物怪録と小泉八雲を歩く」

実施期間:10月13日(日)~10月14日(月・祝)[2日間・広島県、島根県]

講師:植田 千佳穂 (三次市学芸アドバイザー)、小泉 凡 (小泉八雲記念館館長)、

山中 由里子(民博教授) 参加者数:21名

特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」の開催にあわせて、怪異譚「稲生物怪録」の舞台となった広島県三次市と、『怪談』の作者 小泉八雲が不思議な話を蒐集した島根県松江市を訪ね、作品の舞台を歩きながら、怪異が生まれる背景とそれを見出す人間の精神的な営みをさぐった。

#### 5. 民族学研修の旅

第93回「インドネシア東部、ヌサトゥンガラ諸島の住まいを訪ねる」

実施期間:6月7日(金)~6月18日(火)[12日間・インドネシア]

講師:佐藤 浩司 (民族建築学者) ※2019年3月に民博を退職 参加者数:16名

1 万を超える島々に 200 以上の民族が暮らすインドネシア。その家屋や集落には、配置や方 位、装飾やシンボリックな形状に人びとの世界観を見ることができる。個人のものでも、人間 のみの所有物でもない「住まい」本来のあるべき姿を島々の家、集落にさぐった。

第94回「ひと、もの、くにのはじまりを探して:陸路で行くベトナム・ラオス」

実施期間:11月22日(金)~12月2日(月)[11日間・ベトナム、ラオス]

講師:樫永 真佐夫(民博教授) 参加者数:25名

国土の 7 割を山地が占め、平地部には多数民族が、山間部には少数民族が多く暮らすベトナム とラオス。両国の北部山間部を横断し、文化や言語の異なる民族が混交する暮らし、国や民族 の来歴などを見聞し、この地域の多元性に理解を深めた。

#### 6. 午餐会

第204回「未来志向のミュージアム―都市(まち)のシンボルとして」

実施日:7月26日(金) 会場:ホテル阪急インターナショナル

話題提供者: 蓑 豊 (兵庫県立美術館長)

コメンテーター: 吉田 憲司 (国立民族学博物館長)

参加者数:22名 19 世紀の終わりより、ミュージアムは観光や文化政策、都市計画など、都市(まち)におい て重要な役割を担ってきた。文化の発信基地、都市の駆動車でもあるその存在を、ミュージア ム施策の第一人者を話題提供者に招いて紹介した。

#### 7. トークイベント

国立科学博物館と国立民族学博物館の共同企画展「ビーズ―自然をつなぐ・世界をつなぐ」 (会場:国立科学博物館、会期:2019年4月9日~6月16日)の開催にあわせ、自然科学 と人文科学の知見を交えて、人間の「ヒトらしさ」について考えるトークイベントを企画し 実施した。

タイトル:「ヒトってなんだ??一ホモ・サピエンスの誕生から文化の獲得まで」

実施日:5月25日(土)

会場:国立科学博物館 日本館2階講堂

話者:篠田 謙一(国立科学博物館副館長)、池谷 和信(民博教授) 参加人数:92 名

プログラム: 14:00 開会挨拶

> 14:05 生物としての「ヒトらしさ」話者:篠田 謙一 14:35 営みにさぐる「ヒトらしさ」話者:池谷 和信

15:05 ディスカッション(~16:00)

主催:国立科学博物館 千里文化財団

# 外部広報事業 阪急生活楽校との連携講演会 開催報告

#### 1. 企画目的

大阪の表玄関、梅田に位置している阪急うめだ本店に設けられた阪急うめだホールでは、新しい生活 文化の発信基地として、講演会や展示会等さまざまな目的で活用されている。国立民族学博物館の広 報事業として、阪急うめだホールを会場に一般市民を対象とした講演会を開催し、世界の多様な文化 に触れる機会を提供した。

#### 2. 開催内容

第2回目「物語は極上の嗜好品―女性が愛したアラビアンナイト」

開催日時:8月27日(火)14:00~15:30 (開場:13:30)

講師:西尾 哲夫(民博教授)

参加者数:112名

18世紀、ヨーロッパの宮廷社会において人気を博し、世界文学の座へと上りつめた中東発祥の物語アラビアンナイト。火付け役となった翻訳者の紹介とともに、「女性」を鍵に物語の魅力を再考した。

第3回目「イタリア人と食一生活を楽しむために」

開催日時:12月11日(水)14:00~15:30 (開場:13:30)

講師:宇田川 妙子(民博教授)

参加人数:86名

南北に長いイタリアでは地域・家庭ごとに異なる食文化・食生活があり、コミュニティの 繋がりに食がひと役かっている。グローバル化、商業化がすすむ現在、イタリアを例にあ げながら食のあり方について考えた。

※昨年度より実施、通算開催回数

- 2. 主 催 千里文化財団 阪急うめだ本店
- 3. 協 力 国立民族学博物館
- 4. 会場 阪急うめだホール (阪急うめだ本店 9階)
- 5. 参加費 1,000円/友の会会員無料

※阪急阪神お得意様カード:各種ペルソナカード、エメラルド STASIA カード 200 円割引





阪急うめだホールでの講演会

## 国立民族学博物館コレクション「世界のかわいい衣装」展 開催報告

- 1. 名 称 国立民族学博物館コレクション 世界のかわいい衣装 Handmade Dresses of the World: The National Museum of Ethnology Collection
- 2. 概 要 国立民族学博物館が収蔵している未公開の衣装資料を中心に利用して、阪急うめだ本店「阪急うめだギャラリー」にて公開した。この展覧会をとおして、それらの衣装をうみだす手工芸技術や生産者・着用者の社会や文化に親しんでいただく機会を設けるとともに、日本で唯一の民族学・文化人類学の研究機関である国立民族学博物館の研究、資料収集、展示企画、そして国立民族学博物館友の会の活動をより多くの人びとに発信する機会を設けることができた。
- 3. 主 催 阪急うめだ本店、国立民族学博物館、千里文化財団
- 4. 開催期間 11月13日(水)~ 25日(月) 13日間
- 5. 開館時間 日~木10:00~20:00 金・土10:00~21:00
- 6. 会 場 阪急うめだ本店 9F 阪急うめだギャラリー (561 m) 〈〒530-8350 大阪府大阪市北区角田町 8-7〉
- 7. 展示点数 標本資料 181点・映像資料 14番組
- 8. 観覧料 一般:600円 学生:400円 【小学生以下無料】 阪急阪神お得意様カード、各種ペルソナカード、エメラルド STACIA カード、 国立民族学博物館友の会会員証のご呈示で、ご本人様に限り入場料 100円引
- 9. 入場者数 11.802人
- 10. 関連事業
  - ① オープニングトークショー「上羽 陽子 x 島本 美由紀」(会場:9階 祝祭広場) 開催日:11 月 13 日(水) 13:00~13:30
  - ② ギャラリートーク (会場:展示場)

「中国ミャオ族の晴れ着と普段着」 講師:宮脇 千絵

開催日: 11月16日(土)11:00~11:30

「ルーマニアのかわいい衣装」 講師:新免 光比呂

開催日: 11月19日(火)14:00~14:30

「インド西部ラバーリーの装いから考える」講師:上羽 陽子

開催日: 11月20日(水)18:00~18:30

「装いの文化史-アフリカのビーズに注目して-」 講師:池谷 和信

開催日: 11月22日(金)11:00~11:30

「極北の極寒に耐えるイヌイットー毛皮服の秘密」 講師:岸上 伸啓

開催日: 11月24日(日)14:00~14:30

※ 各ギャラリートークの参加者は 60 名程度

#### 11. 広 報

○新聞

10月 17日読売新聞10月 25日神戸新聞11月 4日神戸新聞11月 7日産経新聞11月 9日読売新聞11月 19日京都新聞

○雑誌・ミニコミ誌等

11月ペルソナ通信 11月素敵な時間の過ごし方暮らしの劇場

11月号アサヒメイト 11月 20 日産経 WEST

○テレビ・ラジオ

11月8日みのおエフエム 11月18日 NHK 大阪放送局

#### ○ウェブサイト等

10月 4日 おでかけ―Jタウンネット 10月 30日 インターネットミュージアム 10月30日 ミントクラブ神戸新聞読者クラブ10月30日 沿線イベント情報 阪急電鉄 10月30日 阪急うめだ本店 HP 10月30日 子供とお出かけ情報「いこーよ」 10月30日 アサヒメイト 10月30日 日本旅行 11月7日 WEBIROSAKA02 11月8日 30min 11月8日 antenna 11月8日 BIGLOBE 旅行 11月8日 dmenu 11月8日 FASHION PRESS 11月8日 goo 11月8日 isshikimayumi 11月8日 KOEBON 11月8日 Peachy-ライブドアニュース 11月8日 TRAICY 11月8日 PRTIMES 11月8日 Yahoo 口コ 11月8日 あべの経済新聞

11月8日 ウォーカープラス11月8日 タッキー816みのおエフエム11月11日 財経新聞11月13日 デイリースポーツ online

11月13日 Lmaga.jp



阪急うめだギャラリーでの展示

# ■2019年度貸借対照表

# 2020年3月31日現在

	科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部		円	円	円
1. 流動資産				
(1)	現金預金	21,989,190	13,529,684	8,459,506
(2)	未収入金	16,349,826	21,193,009	△ 4,843,183
(3)	貯蔵品	42,805,109	38,902,802	3,902,307
(4)	前払費用	2,185,627	1,929,532	256,095
流動資産合計		83,329,752	75,555,027	7,774,725
2. 固定資産				
基本財産				
(1)	基本財産特定資産	30,000,000	30,000,000	0
その他の固定資産				
(1)	車輌	1	1	0
(2)	什器備品	496,029	539,302	△ 43,273
(3)	電話加入権	594,951	594,951	0
(4)	差入保証金	1,100,000	1,100,000	0
その他の	の固定資産合計	2,190,981	2,234,254	△ 43,273
固定資産合計		32,190,981	32,234,254	△ 43,273
資産合語	<del>†</del>	115,520,733	107,789,281	7,731,452

科目	当年度	前年度	増減
II 負債の部	円	円	円
1. 流動負債			
(1) 未払金	83,181,471	86,930,592	△ 3,749,121
(2) 前受金	500,000	0	500,000
(3) 預り金	268,314	274,594	△ 6,280
流動負債合計	83,949,785	87,205,186	△ 3,255,401
負債合計	83,949,785	87,205,186	△ 3,255,401
III 正味財産の部			
正味財産	31,570,948	20,584,095	10,986,853
負債及び正味財産合計	115,520,733	107,789,281	7,731,452

#### ■2019年度理事会及び評議員会の開催状況

#### □ 理事会

#### 第34回理事会(2019年5月27日開催)での審議事項

審議事項: 第1号議案 2018年度事業状況報告について

第2号議案 2018年度収支決算報告について

第3号議案 評議員の辞任に伴う後任候補者の推薦について

第4号議案 臨時職員就業規則(案)について

第5号議案 契約職員就業規則の修正(案)について

第6号議案 第17回評議員会の招集及び付議議案について

報告事項: (1)公益財団法人の認定に向けた作業について

(2)「国立民族学博物館友の会」の増強について

(3)「2025 大阪・関西万博を考える会」について

上記の審議事項及び報告事項が承認された。

#### 第35回理事会(2019年6月28日開催※書面)での審議事項

審議事項: 第18回評議員会(書面)の招集及び付議議案について

1) 開催日程 2019年7月12日(金)

2) 開催場所 千里文化財団役員室 (国立民族学博物館 3 階)

3) 付議議案 理事の選任について

みなし決議(書面)により上記の審議事項を諮り承認された。

# 第36回理事会(2019年7月12日開催※書面)での審議事項

審議事項: 代表理事(理事長)、及び 業務執行理事(専務理事)の選定について

1) 中牧弘允を代表理事に選定し、理事長とする。

2) 久保正敏を業務執行理事に選定し、専務理事とする。

みなし決議(書面)により上記の審議事項を諮り承認された。

### 第37回理事会(2019年10月15日開催)での審議事項

審議事項: 第1号議案 2019年度上半期実施事業報告について

第2号議案 2019年度下半期追加事業報告について

報告事項: (1) 友の会会員の増強について

(2) 2020 年度事業計画(案) について

(3) 公益財団法人の認定に向けた検討事項について

上記の審議事項及び報告事項が承認された。

# 第38回理事会(2020年2月17日開催)での審議事項

審議事項: 第1号議案 2020年度事業計画(案)について

第2号議案 2020年度収支予算(案)について

第3号議案 第19回評議員会の招集及び付議議案について

報告事項: (1) 公益認定申請について

(2) 顧問就任依頼について

上記の審議事項及び報告事項が承認された。

#### □ 評議員会

#### 第17回評議員会(2019年6月17日開催)での審議事項

審議事項 第1号議案 2018年度事業状況報告について

第2号議案 2018年度収支決算報告について 第3号議案 評議員の辞任に伴う選任について

報告事項 理事会の審議事項等について

上記の審議事項及び報告事項が承認された。

#### 第18回評議員会(2019年7月12日開催※書面)での審議事項

審議事項: 理事の選任について

※任期は2019 評議員会承認後から2021年6月の評議員会終結まで

理事候補者(5名):

中牧弘允(国立民族学博物館名誉教授/吹田市立博物館館長) ※重任 久保正敏(国立民族学博物館名誉教授) ※重任 奥野卓司(山階鳥類研究所所長) ※重任 初谷 勇 (大阪商業大学公共学部教授) ※重任 大石なつ美 (千里文化財団事務局長) ※重任

みなし決議(書面)により上記の審議事項を諮り承認された。

#### 第19回評議員会(2020年3月24日開催※書面)での審議事項

審議事項: 第1号議案 2020年度事業計画(案)について

第2号議案 2020年度収支予算(案)について

第 19 回評議員会は新型コロナウイルスの影響により、みなし決議(書面)により上記の審議事項を 諮り承認された。